

(宮崎県商工会議所連合会 共同事業)

# 宮崎県内企業景況調査報告書

2024年1月～3月期

第112回

宮崎県商工会議所連合会

(幹事:宮崎商工会議所)

## 目 次

1. 実施概要
2. 調査結果(DIの推移)
3. 概況
4. 県内の景気動向
  - (1)前期比 令和5年10月～12月比
  - (2)前年同期比 令和5年1月～3月比
  - (3)来期見通し 令和6年4月～6月見通し
5. 業種別の景気動向
  - (1)製造業
  - (2)建設業
  - (3)卸売業
  - (4)小売業
  - (5)サービス業(飲食関連・観光関連を含む)
6. 経営上の問題点
7. 今後の対応策
8. 国・県等への要望

## 1. 実施概要

### (1) 回答率

調査対象企業数	500社
回答企業数	122社
回答率	24.4%

(業種別)

製造業	32社
建設業	35社
卸売業	5社
小売業	24社
サービス業	26社
合計	122社

### (2) 調査対象月

2024年1月～3月期

### (3) 調査依頼期間

2024年4月1日(月) ～ 2024年4月12日(金)

### (4) 調査内容

調査対象の第1四半期について、前期比、前年同期比及び来期見通しについて、売上高（出荷額・受注額）、採算（経常利益ベース）、資金繰りの状況、仕入れ単価（資材、原材料、商品）、雇用（労働力）状況（パート含む）、設備投資計画、業況の項目ごとに景況感を調査した。

### (5) 調査対象

県内9つの商工会議所（宮崎・都城・延岡・日向・高鍋・日南・小林・串間・西都）の地域の実情を考慮して、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種で合計500社を調査対象とした。

### (6) 調査方法

県内9商工会議所において、各地域の調査対象企業へ調査票を送付し、回答をFAX等で返信していただき、各商工会議所で行った調査結果を宮崎商工会議所経営指導部が集約して、集計分析を行った。

## 2. 調査結果(DI)

DIとは（景況判断指数）とは

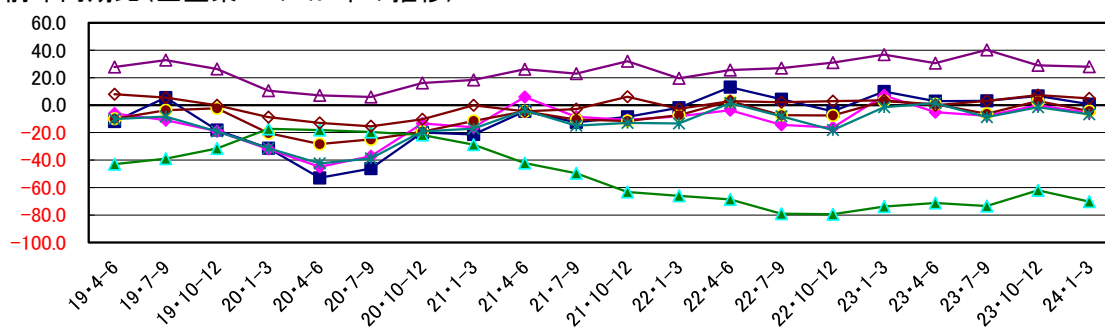
DIは、売上・採算・資金繰り・仕入価格・雇用状況・設備投資・業況などの各項目についての、判断状況を表します。

ゼロを基準として、プラス値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味します。

売上DI	= (増加回答の割合) - (減少回答の割合)
採算DI	= (好転 " ) - (悪化 " )
資金繰りDI	= (好転 " ) - (悪化 " )
仕入価格DI	= (下落 " ) - (上昇 " )
雇用状況DI	= (不足 " ) - (過剰 " )
設備投資DI	= (拡大 " ) - (減少 " )
業況DI	= (好転 " ) - (悪化 " )

## 2. 調査結果 (DI)

前年同期比(全企業DIの5か年の推移)



	19-4-6	19-7-9	19-10-12	20-1-3	20-4-6	20-7-9	20-10-12	21-1-3	21-4-6	21-7-9	21-10-12	22-1-3	22-4-6	22-7-9	22-10-12	23-1-3	23-4-6	23-7-9	23-10-12	24-1-3
■ 売上	-11.9	5.5	-18.1	-31.4	-52.9	-46.2	-19.9	-21.4	-4.4	-12.4	-8.4	-1.8	13.1	4.3	-4.4	9.9	2.9	3.1	6.7	0.8
◆ 採算	-6.0	-10.9	-18.9	-32.0	-44.9	-37.1	-13.3	-16.0	5.9	-8.4	-10.7	-8.1	-3.7	-14.3	-16.3	7.1	-5.1	-7.8	0.0	-5.7
● 資金繰り	-9.9	-3.7	-2.4	-20.3	-28.3	-25.0	-19.4	-11.5	-4.4	-10.5	-11.5	-7.3	3.0	-7.2	-7.5	2.9	0.7	-6.2	3.0	-4.2
▲ 仕入価格	-43.0	-38.9	-31.5	-17.2	-18.1	-19.5	-21.6	-28.7	-42.2	-49.6	-63.3	-66.1	-68.6	-79.1	-79.4	-73.8	-71.3	-73.4	-61.9	-70.2
△ 雇用状況	27.8	32.7	26.4	10.5	7.2	6.0	16.2	18.3	26.3	23.1	32.0	19.6	25.5	27.1	31.1	36.9	30.7	40.3	29.1	28.1
◇ 設備投資	8.0	5.5	0.0	-8.6	-12.9	-15.4	-10.3	0.0	-4.4	-2.8	6.2	-2.7	2.9	2.2	2.9	3.5	0	3.1	7.4	5.0
* 集況	-10.0	-8.3	-19.2	-31.4	-42.4	-38.8	-19.1	-17.2	-3.7	-14.9	-12.9	-13.4	1.5	-8.1	-18.2	-1.5	1.5	-8.7	-1.5	-6.7

## 3. 概況

### (1) 今期の特徴

今期は、前年同期と比較すると全体的にDI値は下降している。サービス業、小売業を中心にキャンプシーズン、年度末需要による好転が見られた業種もある一方で、建設業、製造業においては、仕入価格の上昇、雇用状況の不足の影響でマイナスに転じている事業所も見られた。

### (2) 来期の見通し

来期はキャンプシーズンや年度末の需要が落ち着くため、不変もしくは悪化を見越している事業所が多く見られた。製造業をはじめとして輸送の2024年問題から採算の悪化を心配するコメントも見られた。

### (3) 経営上の問題点

1位「原材料(仕入単価)価格の上昇」、2位「需要の停滞」、3位「従業員の不足」、4位「人件費の増加」、5位「原材料・人件費以外の経費の増加」という結果になった。

### (4) 今後の対応策

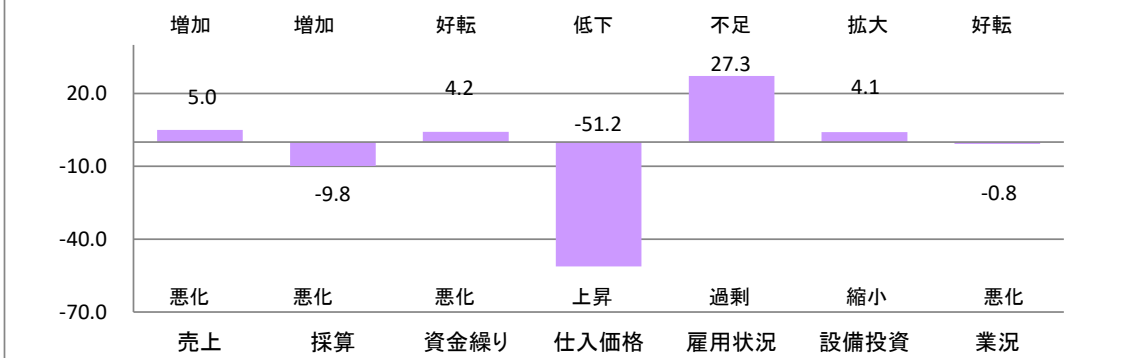
1位「生産性を向上させたい」、2位「従業員を新規雇用したい」、3位「新規市場を開拓したい」、4位「その他の合理化を実施したい」、5位「新製品の開発を行いたい」という結果になった。

### (5) 総括・分析

今期は、サービス業・小売業においては、スポーツキャンプや年度末の需要により景況が好転したと感じているコメントが見られた。一方で製造業においては輸送の2024年問題の影響を受け、採算が悪化したというコメントも見られた。雇用状況DIは全業種で人手不足の状況となっており、経営上の問題に従業員の確保を挙げる事業所もあった。国への要望としては物価高騰への対応を要望する声が多く見られた。

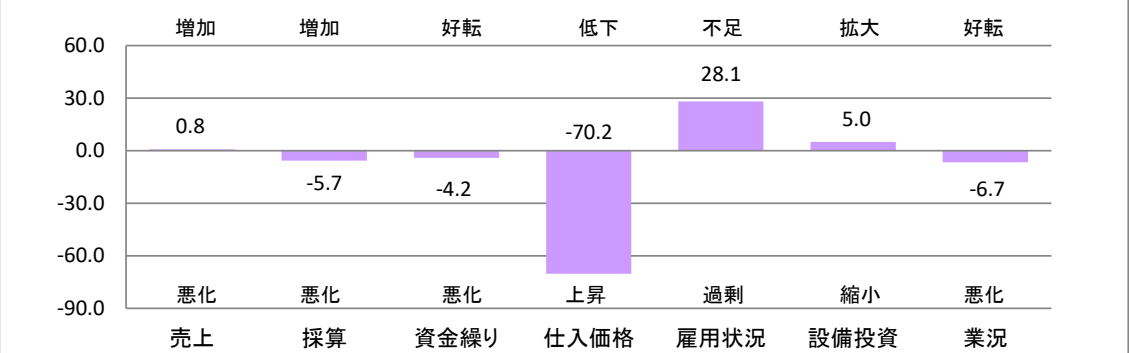
#### 4. 県内の景気動向(全業種)

前期比 令和5年10月～12月比



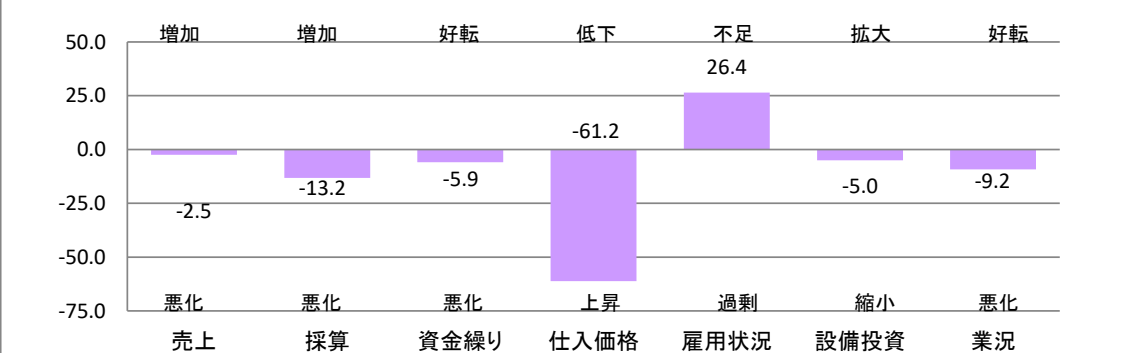
前期と比較すると仕入価格DIは上昇、雇用状況DIは不足、採算DIは悪化、その他の項目は好転という結果となった。スポーツキャンプ等の影響で小売業、サービス業を中心に売上増加がみられる一方で、仕入価格の上昇、雇用状況の不足の影響を受ける事業所も多く見られた。

前年同期比 令和5年1月～3月比



前年同期と比較すると、仕入価格DIが大きく上昇、雇用状況DIは不足、採算DI、資金繰りDI、業況DIはマイナスの値を示しており、売上DIと設備投資DIがわずかに拡大を示す結果となった。業種にかかわらず売上は増加しているが、仕入価格が上昇している為、利益増とはなっていないと回答する事業所が多かった。

来期見通し 令和6年4月～6月見通し

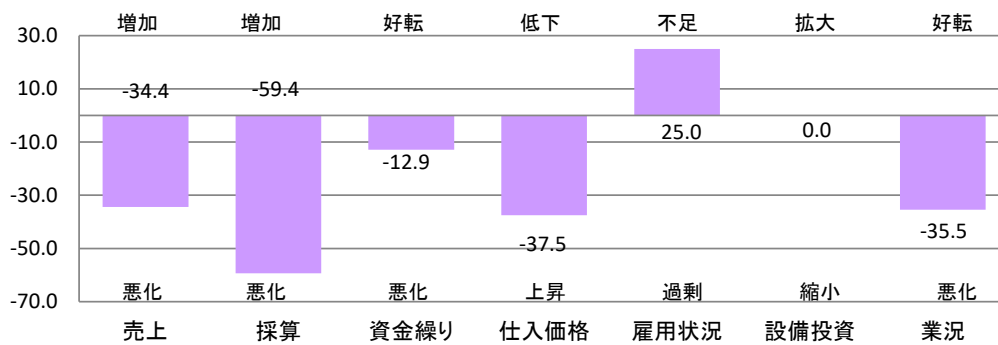


来期の見通しとしては、雇用状況DIを除いてマイナスの値を示す結果となった。売上に関しては、今期と同じ程度で推移すると回答する事業所が多かった。製造業においては、2024年問題による輸送コスト増を心配する事業所もあった。

## 5. 業種別の景気動向

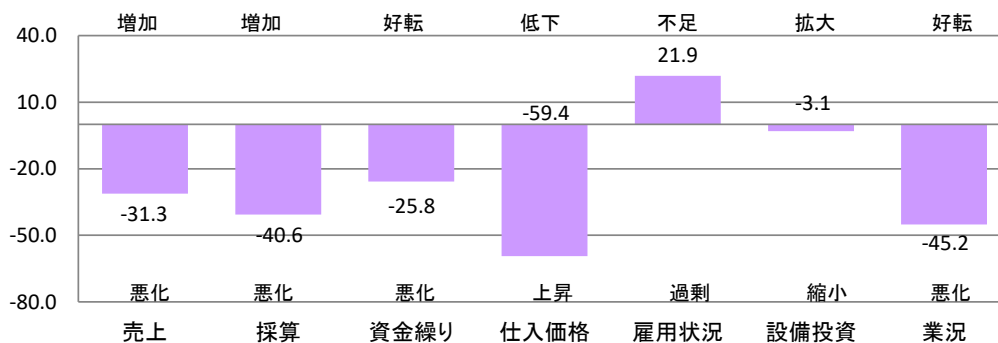
### (1) 製造業

前期比 令和5年10月～12月比



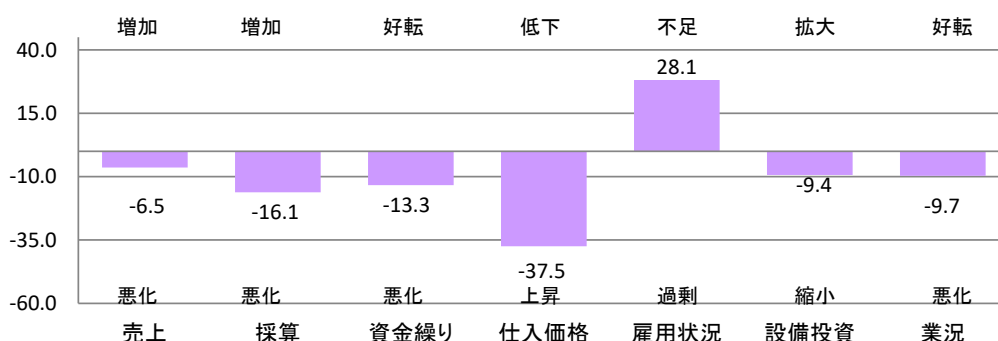
前期と比較すると、売上DI、採算DI、資金繰りDI、仕入価格DIが悪化している。雇用状況DIは不足を示す結果となった。仕入価格の上昇と雇用状況の不足から売上と採算が悪化している事業所が見られた。

前年同期比 令和5年1月～3月比



前年同期と比較すると、雇用状況DIは不足、仕入価格DIは上昇、売上DI、採算DI、業況DIが悪化、その他の項目はマイナスの値を示す結果となった。物流の2024年問題による輸送コスト増と価格上昇による需要の減速の影響により、依然厳しい状況が続いていると回答する事業所が見られた。

来期見通し 令和6年4月～6月見通し

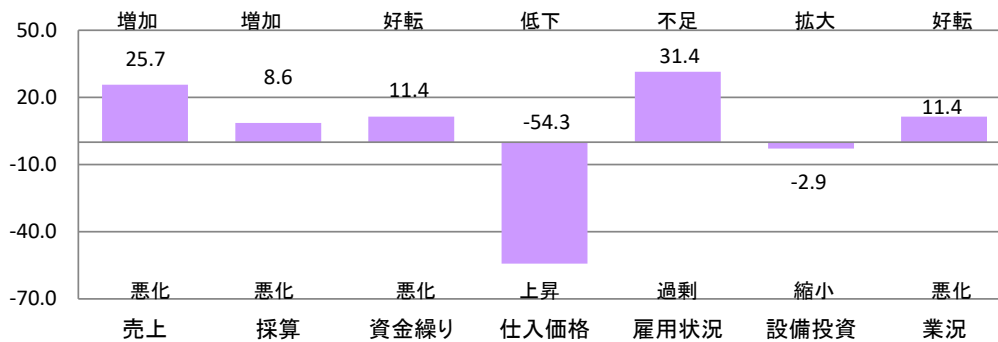


来期の見通しは、雇用状況DIは不足、その他の項目はマイナスの値を示す結果となった。不変と回答する事業所の割合が多く、来期以降も物流の2024年問題による輸送コスト増による利益の確保が難しいと回答する事業所が見られた。

## 5. 業種別の景気動向

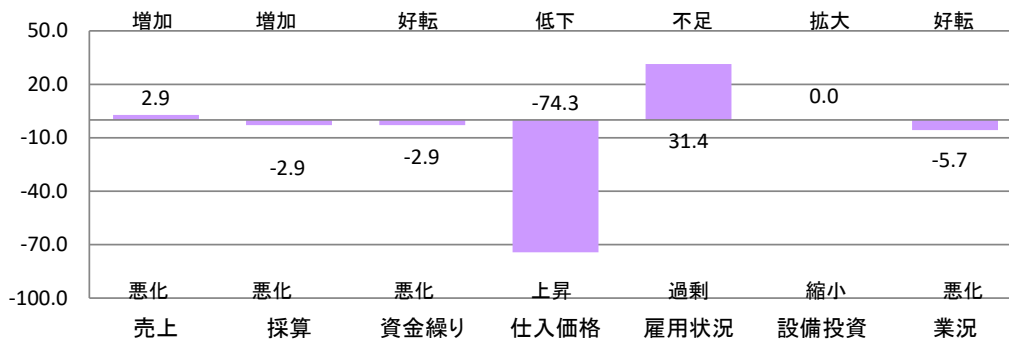
### (2) 建設業

前期比 令和5年10月～12月比



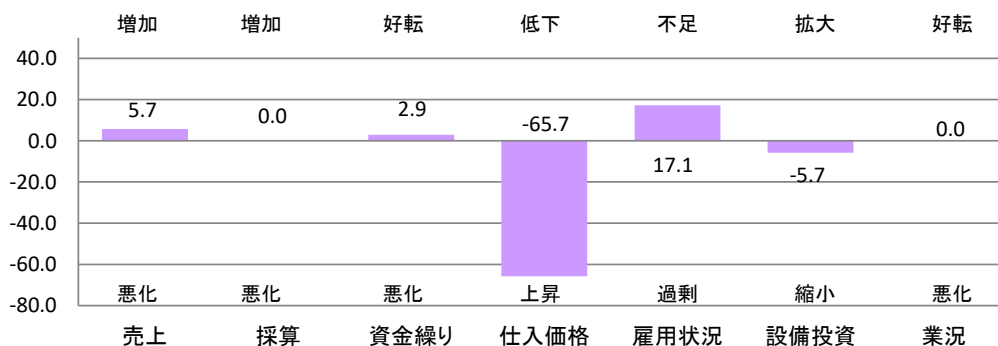
前期と比較すると、仕入価格DIは上昇、設備投資DIがマイナス、その他の項目はプラスの値を示す結果となった。年度末の需要期につき、稼働率、売上ともに前期比では好転したと回答する事業所が見られた。

前年同期比 令和5年1月～3月比



前年同期と比較すると、売上DIが増加、仕入価格DIは大きく上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは0、その他の項目はマイナスの値を示す結果となった。年度末に完成を迎える工事のボリューム感としては前年同期とほぼ同じ水準であったため、前年同期比でみると不変と回答する事業所が見られた。

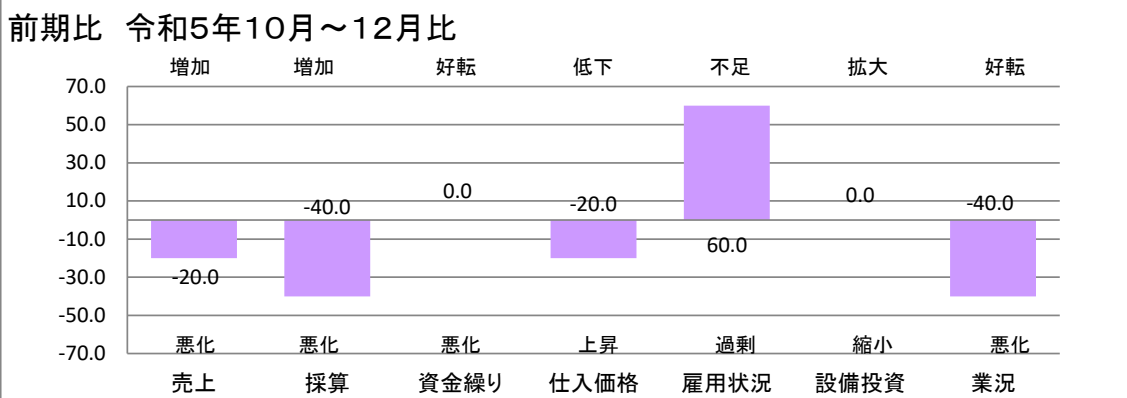
来期見通し 令和6年4月～6月見通し



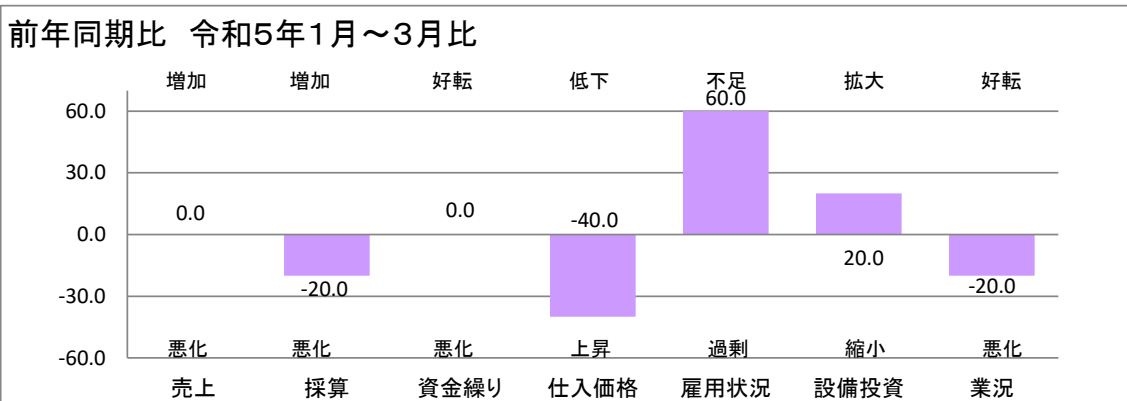
来期の見通しは、採算DIと業況DIは0、仕入価格DIは上昇、設備投資DIは縮小、その他の項目はプラスの値を示す結果となった。公共工事においては、新年度の発注見通しにより不変と回答する事業所が見られた。

## 5. 業種別の景気動向

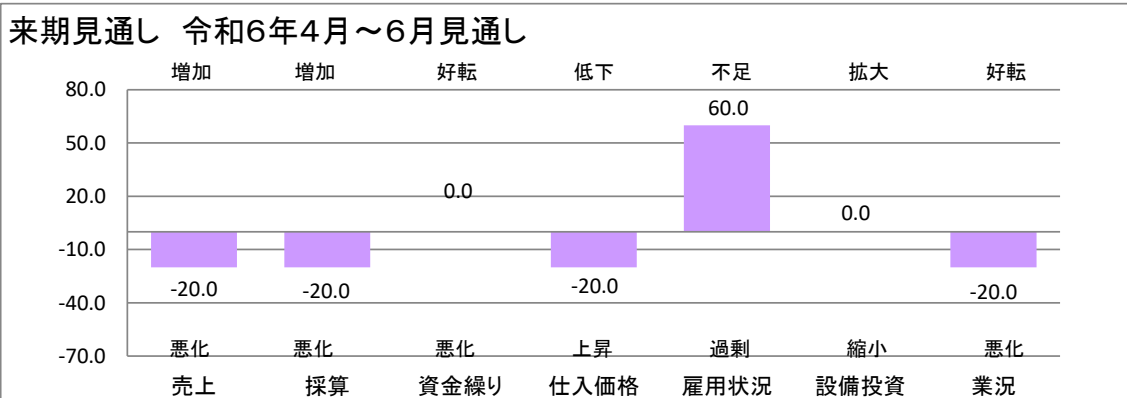
### (3) 卸売業



前期と比較すると資金繰りDI、設備投資DIはいずれも0、売上DI、採算DI、業況DIは悪化、雇用状況DIは不足、仕入価格DIは上昇となった。季節変動要因により前期比は悪化を示す事業所が見られた。



前年同期と比較すると、売上DIと資金繰りDIは0、雇用状況DIは不足、設備投資DIは拡大、その他の項目はマイナスの値を示す結果となった。多くの事業所が仕入価格の高騰に対する価格転嫁に苦慮している様子であった。

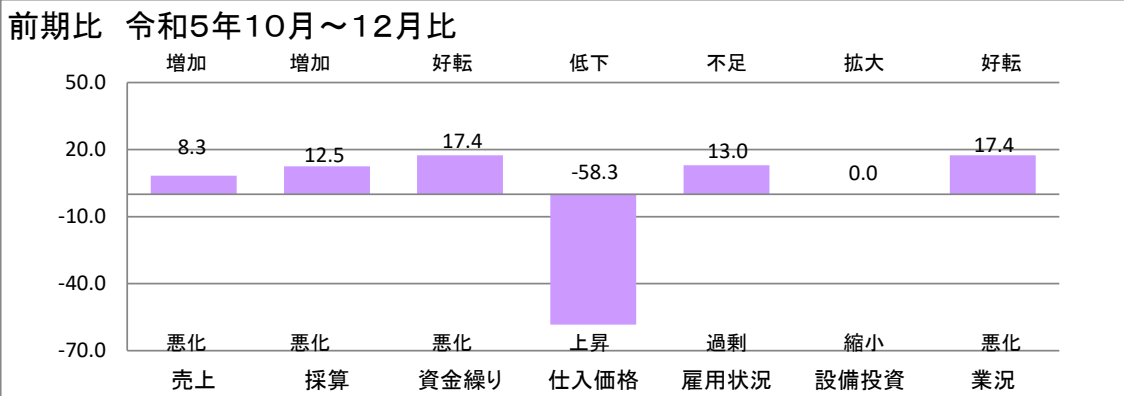


来期の見通しは、資金繰りDIと設備投資DIは0、仕入価格DIは上昇、雇用状況DIは不足、その他の項目はマイナスの値を示す結果となった。前回調査と比較すると仕入れ価格は42ポイント改善している一方で雇用状況DIは不足が高止まりしており、業界として人員不足が深刻化している傾向にあると考えられる。

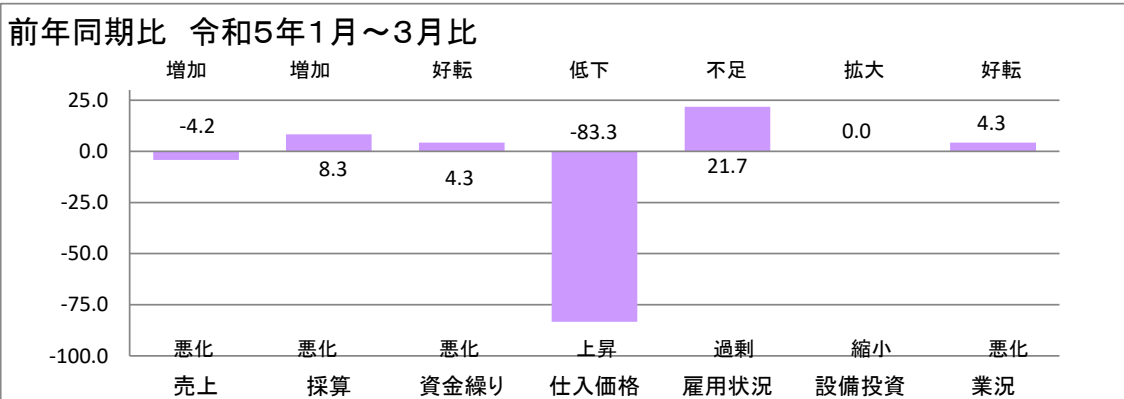


## 5. 業種別の景気動向

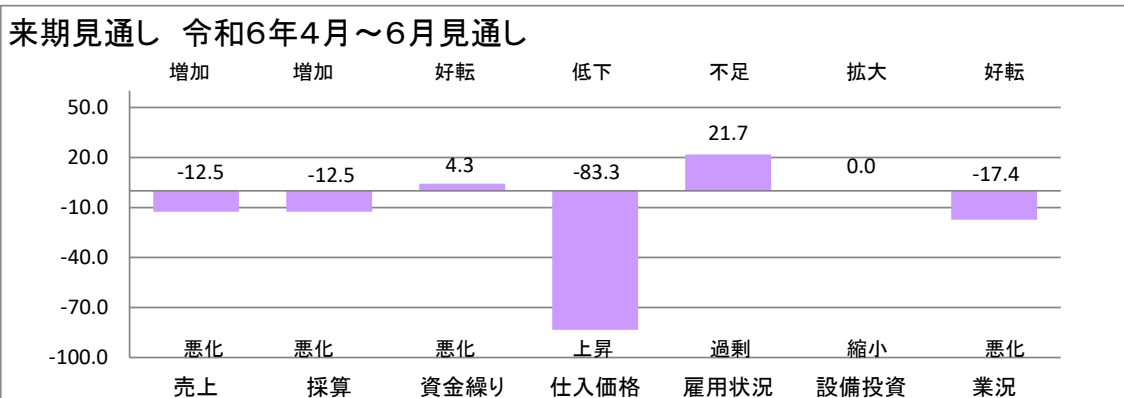
### (4) 小売業



前期と比較すると、設備投資DIは0、仕入価格DIは上昇、その他の項目はプラスの値を示す結果となった。スポーツキャンプ需要による観光客の増加、新年度に向けた需要の増加により、好転したと回答した事業所が多かった。一方で仕入価格の上昇の影響を受けている事業所も多く見られた。



前年同期と比較すると、売上DIは悪化、雇用状況DIは不足、仕入価格DIは上昇、設備投資DIは0、その他の項目はプラスの値を示す結果となった。前年と比較するとコロナの制限がなくなったことにより、来客数が増加したとのコメントが見られた。

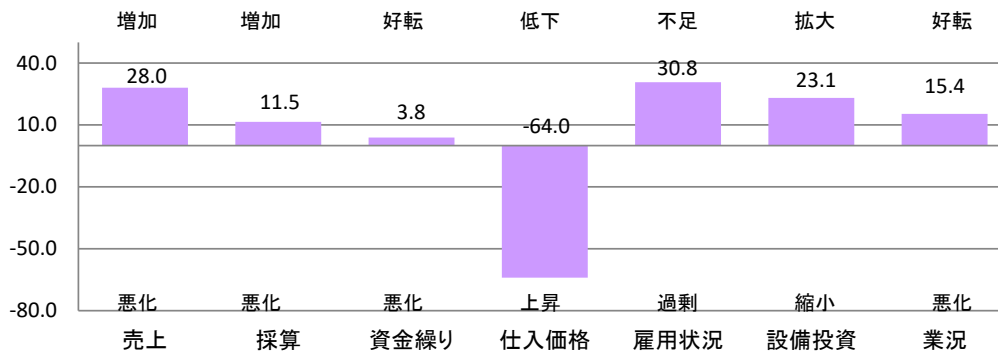


来期の見通しは、資金繰りDIは好転、仕入価格DIは上昇、雇用状況DIは不足、その他の項目はマイナスの値を示す結果となった。仕入価格の高騰や人件費の上昇により採算は悪化すると見込む事業所が多かった。また、商品価格に転嫁することで消費者の買い控えを心配するコメントも見られた。

## 5. 業種別の景気動向

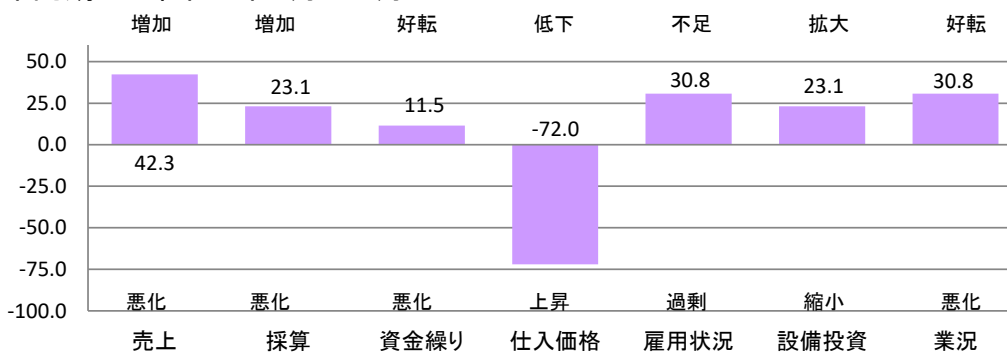
### (5) サービス業

前期比 令和5年10月～12月比



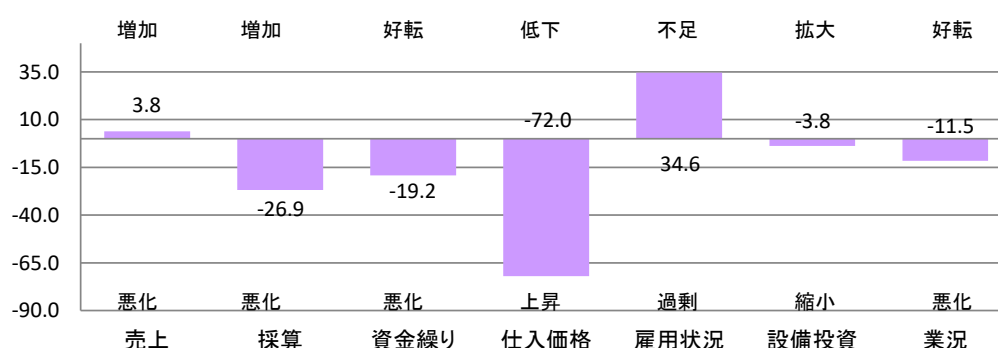
前期と比較すると、仕入価格DIは上昇、雇用状況DIは不足、その他の項目はプラスの値を示す結果となった。スポーツキャンプにより好転した事業所が見られており、観光客の増加、イベント開催に伴う需要で売上増につながった事業所が多かった。設備投資を拡大し、来期以降の取り組みを試みる事業所も存在した。

前年同期比 令和5年1月～3月比



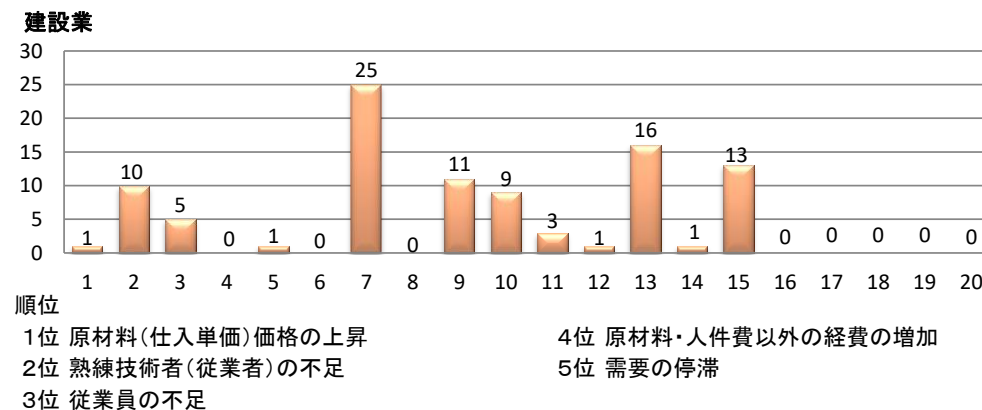
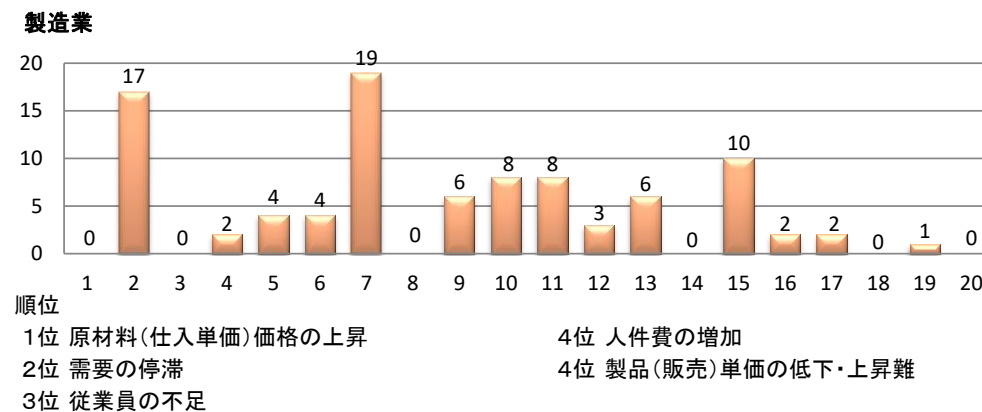
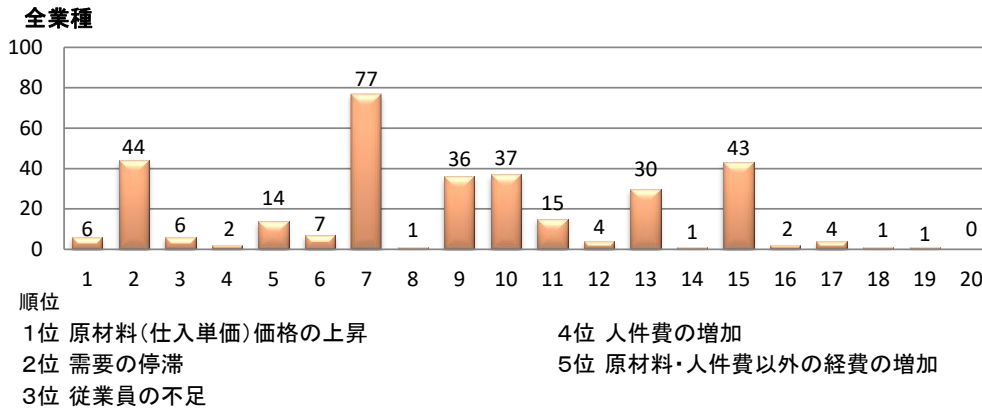
前年同期と比較すると、仕入価格DIは上昇、雇用状況DIは不足、その他の項目はプラスの値を示す結果となった。前年同期比でみるとコロナの5類移行に伴い、好転している事業所が多かった。一方で、仕入価格の高騰や人材不足に苦労しているとのコメントも多くみられた。

来期見通し 令和6年4月～6月見通し



来期の見通しは、売上DIは増加、雇用状況DIは不足、その他の項目はマイナスの値を示す結果となった。スポーツキャンプや年度末の需要が落ち着いたため、不変もしくは悪化を見越している事業所が多く見られた。

## 6. 経営上の問題点

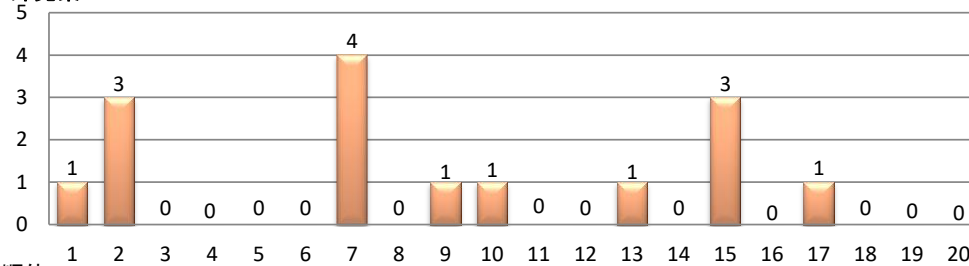


### 【項目一覧】

- |                        |              |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化   | 2. 需要の停滞     |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足・老朽化         | 6. 製品ニーズの変化  |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇      | 8. 生産設備の過剰   |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加     | 10. 人件費の増加   |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難    | 12. 原材料の不足   |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足      | 14. 金利負担の増加  |
| 15. 従業員の不足             | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰            | 18. 取引条件の悪化  |
| 19. 円高による海外製品との競争激化    | 20. 代金回収の悪化  |

## 6. 経営上の問題点

### 卸売業



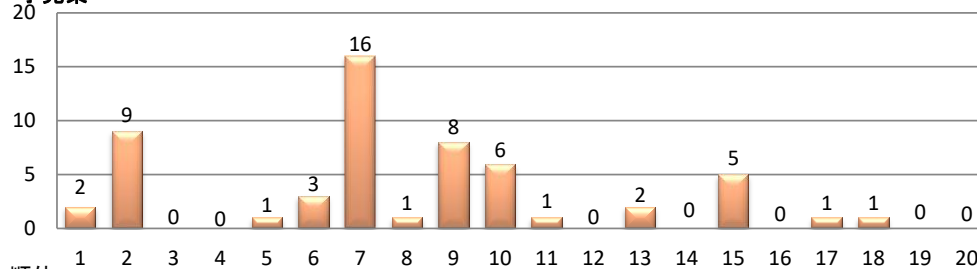
順位

1位 原材料(仕入単価)価格の上昇

2位 需要の停滞

2位 従業員の不足

### 小売業



順位

1位 原材料(仕入単価)価格の上昇

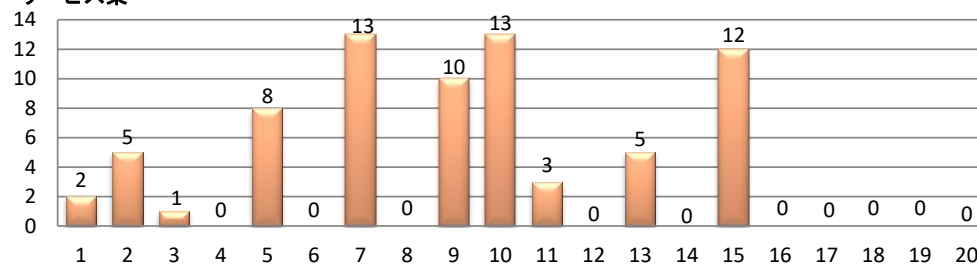
2位 需要の停滞

3位 原材料・人件費以外の経費の増加

4位 人件費の増加

5位 従業員の不足

### サービス業



順位

1位 原材料(仕入単価)価格の上昇

1位 人件費の増加

3位 従業員の不足

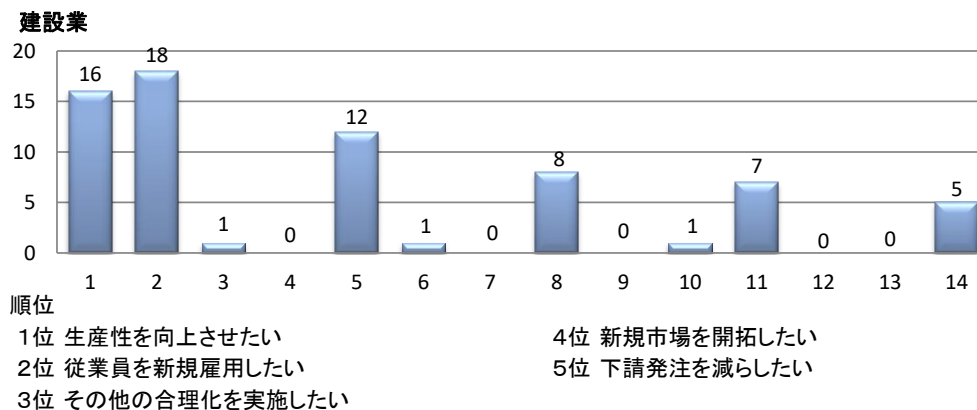
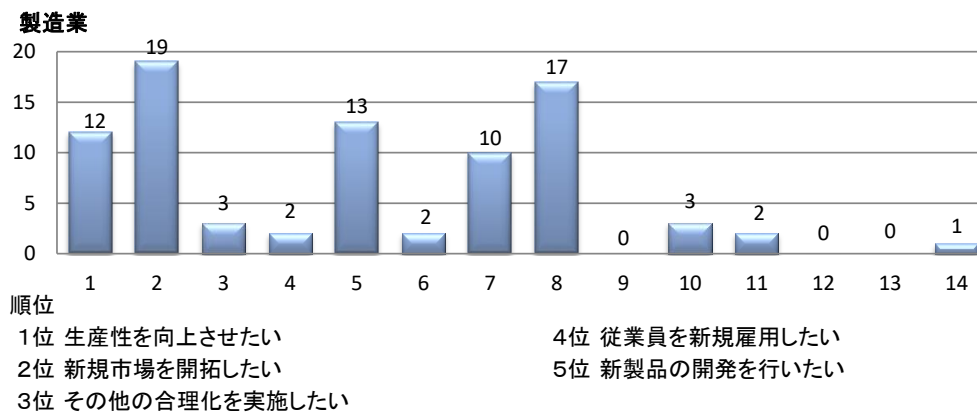
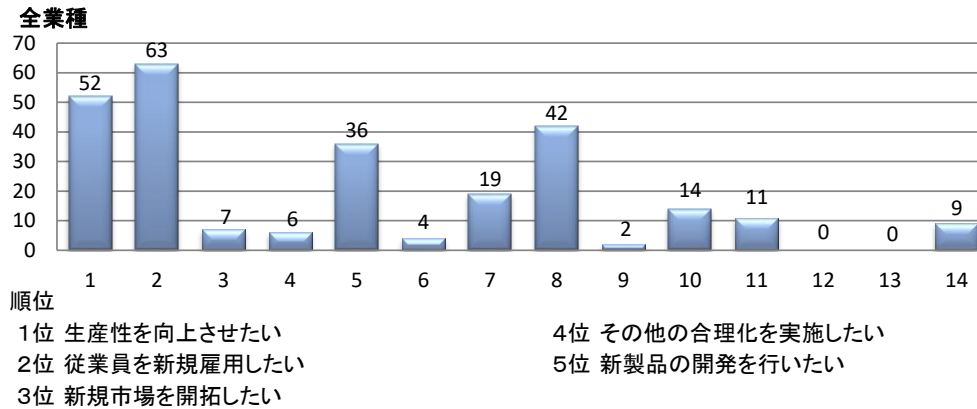
4位 原材料・人件費以外の経費の増加

5位 生産設備の不足・老朽化

### 【項目一覧】

- |                        |              |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化   | 2. 需要の停滞     |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足・老朽化         | 6. 製品ニーズの変化  |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇      | 8. 生産設備の過剰   |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加     | 10. 人件費の増加   |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難    | 12. 原材料の不足   |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足      | 14. 金利負担の増加  |
| 15. 従業員の不足             | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰            | 18. 取引条件の悪化  |
| 19. 為替相場による海外製品との競争激化  | 20. 代金回収の悪化  |

## 7. 今後の対応策

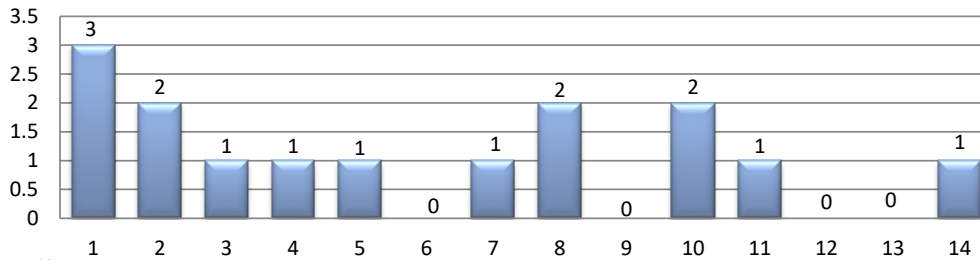


### 【項目一覧】

- |                             |                     |
|-----------------------------|---------------------|
| 1.従業員を新規雇用したい               | 2.生産性を向上させたい        |
| 3.人件費を削減したい                 | 4.生産調整を行いたい(操業短縮など) |
| 5.その他の合理化を実施したい(製造工程の簡素化など) | 7.新製品の開発を行いたい       |
| 6.金融機関から資金を調達したい            | 9.業種転換を行いたい         |
| 8.新規市場を開拓したい                | 11.下請け発注を減らしたい      |
| 10.経営の多角化を行いたい              | 13.海外から原料・部品を調達したい  |
| 12.海外へ生産拠点を移したい             |                     |
| 14.その他                      |                     |

## 7. 今後の対応策

### 卸売業



順位

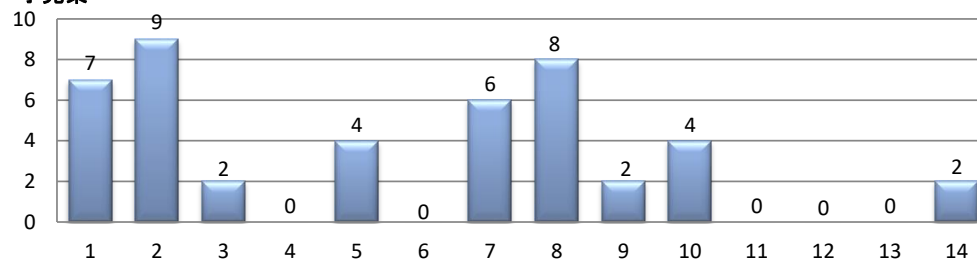
1位 従業員を新規雇用したい

2位 経営の多角化を行いたい

2位 生産性を向上させたい

2位 新規市場を開拓したい

### 小売業



順位

1位 生産性を向上させたい

4位 新製品の開発を行いたい

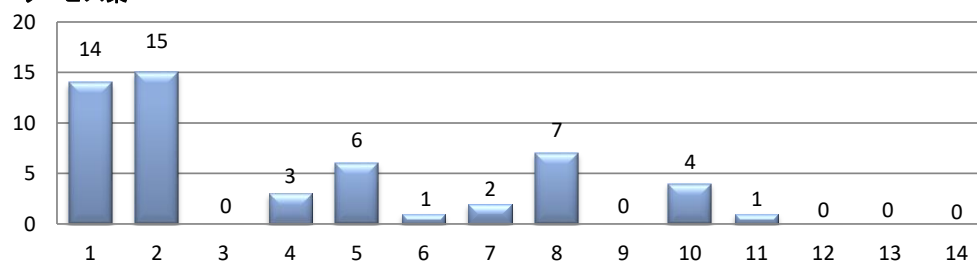
2位 新規市場を開拓したい

5位 その他の合理化を実施したい

3位 従業員を新規雇用したい

5位 経営の多角化を行いたい

### サービス業



順位

1位 生産性を向上させたい

4位 その他の合理化を実施したい

2位 従業員を新規雇用したい

5位 経営の多角化を行いたい

3位 新規市場を開拓したい

#### 【項目一覧】

- |                             |                     |
|-----------------------------|---------------------|
| 1.従業員を新規雇用したい               | 2.生産性を向上させたい        |
| 3.人件費を削減したい                 | 4.生産調整を行いたい(操業短縮など) |
| 5.その他の合理化を実施したい(製造工程の簡素化など) | 7.新製品の開発を行いたい       |
| 6.金融機関から資金を調達したい            | 9.業種転換を行いたい         |
| 8.新規市場を開拓したい                | 11.下請け発注を減らしたい      |
| 10.経営の多角化を行いたい              | 13.海外から原料・部品を調達したい  |
| 12.海外へ生産拠点を移したい             |                     |
| 14.その他                      |                     |

## 8. 国・県への要望

業種名	事業内容	地域	国県への要望
製造業	繊維製品製造業	都城	為替の急激な変化に対応できるよう、輸出も視野に入れたい。新商品開発の投資を行っていく。
建設業	管・水道施設工事業	都城	材料・燃料・運賃の値上げ対策。今後きびしくなり建設業界が不振に追いやられそうです。対策を。
小売業	酒類食料品小売業	宮崎	新紙幣、硬貨の対応に対する補助金などもっと小売業等のレジに使う企業の対応を考えてもらいたい。インボイスにしても新紙幣にしてもレジ等を入替えたり、新規導入するにはコストがかかりすぎる。
サービス業	総合印刷、電子書籍	宮崎	一番の問題課題は賃金上げを行う為の原資の確保をどうするか。できない原因は原材料価格上昇の転嫁の難しさと製品売上価格が上げられないこと。これらの実態を政府、日銀、メディアは解っていない！
製造業	鉄工業	日向	人件費が今後上がっていく事は問題ないが、ニュース等で大企業がUPしているのを大々的に公表されると、社員のモチベーションに影響しないか心配です。中小企業の現状も伝えてほしい
小売業	食料品小売業	高鍋	7月から美術館で「草間彌生展」があるようで、県内外から多くの人が来るかもしれないと思う。

建設業	土木建設業	日南	東九州自動車道の予算確保に尽力してもらいたい
小売業	事務用品販売	日南	政治家の裏金問題に対する対応や処理を見ていると、汗かいて仕事して納めていた税金がバカバカしくなりやる気を失った。今、一番楽しんでお金を増やせる職業との差を多くの国民が感じたと思う。中小企業に税待遇など手助けしなければ経済の土台は10年もたないと思う
小売業	時計めがね販売修理	宮崎	ここ2年程度で、商品価格の上昇が予想以上に上昇、価格帯の両極化に加え、海外品の部品価格が円安と運賃価格のコストアップにより従来より20%以上値上げしている。
サービス業	ゴルフ場経営	宮崎	宮崎のリゾート化
建設業	木製家具、建具工事、内装工事、木工工事、建築一式工事	宮崎	公共工事における物価スライドのゼネコン対応が遅い
サービス業	廃棄物処理業	日南	給与を継続的に上げていきたいが物価も上昇し、売上げも変わらないので難しい状況。急激に顧客に対して値上げする訳にはいかず、利益をけずって対応している。
サービス業	建築設計	日南	行政へはありませんが、民間の方達の方が市外への発注等多くなって来ている様です。



製造業	電気機械器具製造業	延岡	地方の人口減少や大企業における積極採用、初任給の上昇により中小企業における人材の確保が難しくなっている。支援策を期待したい。
建設業	建設業	日南	中小、零細企業の賃上げに対する支援(税制優遇等)の拡充
小売業	工芸品販売	日南	物価が高騰していく中、小売業は経営の維持は難しいものがある。とにかく経済の安定を望むしかない。
サービス業	ホテル・ゴルフ	日南	雇用不安 人件費の増加対策 施設老朽化対策
小売業	切花鉢物販売	延岡	中国への輸出を始めて実績は上がってきているが、中国自体の景気の低迷から販売が下がってきた。また、些細なことでもクレームの原因となり、今後の取引をどのように変化させていくのが重要な課題がでてきた。
建設業	電気工事、電気通信工事	宮崎	「公共工事設計労務単価」の適切な引き上げを要望したい。(補足)2月末に国土交通省から発表となった令和6年度公共工事設計労務単価は12連続アップであり、専門工事26業種平均で5%以上のアップと発表されたが「電工」についてのアップ率は3%に満たずに十分な見直しとは言えない。設備工事業の設計労務単価の大幅な引き上げがなくては賃金水準の引き上げに繋がらないので、見直しを要望したい。
建設業	塗装業	延岡	今後、外国人技能実習生が自動車産業でも、受入できるのが心配である。効率が良くなる設備の補助金はあるが、建物や事務所の新築での補助金がなかなか見当たらないので、そんな補助金があると助かります。

サービス業	総合コンサルティング	日南	ゼロ金利解除素晴らしい！裏金もらってもロッチャパーティーに行ってもいいので、社保の改革をやってほしい。物価以上に賃上げしても手取りが追いつかないと意味ない。まずは年齢で差別することなく、一律3割負担の医療制度改正！
卸売業	酒類・食品卸売	日向	消費税減税と税率の一本化。あとプライマリーバランス均衡すべし等誤った経済認識を改めるべき
サービス業	飲食業	日南	定額減税ややこしい インボイスといい事務負担が増えすぎ
建設業	電気工事	延岡	社員・パートナー(下請け作業)を含めて人材育成と技術向上の指導して貰える指導機関を模索中。それがITによる技術のカバーフォローが可能であればそれも選択してゆきたい。電気工事のIT化できる分野と箇所を探しています。
建設業	土木建築工事業	日南	設備投資の補助金を要望いたします。
製造業	クラフトビール製造、卸小売	日南	定額減税の手続きが複雑すぎて対応出来るか不安
卸売業	酒類卸売業	日南	景況に関しては、物流費用の上昇、円安影響等複雑になりすぎて全く景気対策の具体例さえも思い浮かばない。情報格差、流通格差、人件費格差など地方に不利な状況は以前として変わらないので方策があれば検討したいのであるが、現状は行き詰っている。

小売業	事務機、事務用品販売	小林	インボイス、電帳法の廃止を強く求めたい。業務効率化を物理的に妨げている。
建設業	住宅建築業	串間	賃金引上げ＝商品値上げが続く中、中小企業はますます厳しくなってきました。商品値上げについては、世間一般仕方ないとされますが、一戸建て住宅となると、額の大きさに予算呈示される上、ランクをあげられる施主様との考えの相違に悩まされています。
建設業	建設土木	西都	賃金や週休二日制など、人件費や生産性は不利に進むのに工事費や工期等はあまり変動していないので、しばらくは厳しい状況が続くと予想されるので、しっかりと対応してほしい。
建設業	水道工事業	西都	慢性的に労働力の不足は感じるが、2024年問題により、生産効率の悪化や実質的な人件費増加に繋がると予想される。人材の確保に努めると共に、生産性の向上や、場合によっては価格への転嫁を考慮する必要があると思われる。また、週休2日制としながらも、現場の状況・顧客都合等により休出が発生している事への対策も考慮する必要があると思われる。
サービス業	自動車整備業	西都	販売する自動車の機械装置について取付が義務化されているものが多くなってきており、その分価格が上がってしまうため、自動車を売ることが大変になっている。規制の緩和や見直しを検討してほしい。
小売業	石油販売業	西都	燃料仕入れの補助金が終わるにあたり、今後の対策はなされているのか？宮崎県では交通アクセスが非常に不便な為、今後の燃料高騰にどう対応していくのか？行政の返答はすべてわかりませんで対応されている。補助金なしでは到底維持できる事ではないと思われませんが、今後も補助金を行ってほしいと思う！！
小売業	靴・鞆販売業	西都	円安や物価高による個人消費が低迷して来ている中、メーカー側も個店に対する支払い条件の締め付けや商品取引の条件を厳しくしてきている。行政のメーカーに対する指導をお願いしたい。
小売業	調剤・医薬品販売	西都	地方経済の上昇になる施策を行ってほしい。